

能登半島地震に伴う志賀原子力発電所および七尾大田火力発電所の設備点検状況について

平成19年3月27日
北陸電力株式会社

当社は、能登半島地震発生直後から志賀原子力発電所および七尾大田火力発電所の設備の点検を実施しております。主な点検状況を以下のとおりお知らせします。

1．志賀原子力発電所の設備点検状況について

- (1) 1・2号機の変圧器放圧装置動作等
 - ・地震の揺れにより変圧器内の絶縁油の油面が変動したため、放圧装置が動作しました。今後、放圧装置を新品と取り替えます。
- (2) 1・2号機水銀灯の落下
 - ・1号機タービン建屋運転階の水銀灯7個落下
 - ・2号機原子炉建屋運転階の水銀灯2個落下
 - ：2号機で落下した水銀灯については、使用済燃料貯蔵プール及び原子炉ウエル内に破片が落下した可能性を否定できないため、今後、同プール内等を点検し、必要に応じ回収作業を行います。
- (3) 2号機低圧タービン組み立て中のタービンロータの位置ずれ
 - ・組み立て中の低圧タービンロータを仮止めしていた冶具が変形し、位置ずれがわずかに生じたため、再度組み立て調整を行います。
- (4) 送電線の一時的な停電に伴う原子炉施設保安規定上の措置
 - ・志賀原子力線（27万5千ボルト）、赤住線（6万6千ボルト）が、地震発生直後6分間停電したことから、原子炉施設保安規定で定められた運転上の制限を一時的に外れました。
- (5) 建屋内コンクリート等の剥がれ
 - ・2号機タービン建屋床底面コンクリートの剥がれ
 - ・1号機原子炉建屋、タービン建屋の配管穴仕舞モルタルの剥がれ
 - ：建屋の強度上問題となるとは考えられませんが、当該部について補修します。
- (6) 地震後の設備の機能確認試験の実施
 - ・原子炉施設保安規定に基づき、非常用炉心冷却系や非常用ディーゼル発電設備等の機能試験を順次実施し、健全性確認を行っています。

なお、これまでの点検において、安全上問題となる被害は確認されておりません。
また、余震が継続しており、今後とも必要に応じて点検してまいります。

2．七尾大田火力発電所の設備点検状況について

- (1) 1・2号機とも電気集塵器の放電極の位置がずれていました。
- (2) 1号機は電気集塵器の復旧が完了しましたので、本日10時10分に並列しました。
- (3) 2号機は現在電気集塵器の補修作業中であり、完了しだい起動操作の準備に入ります。

以 上